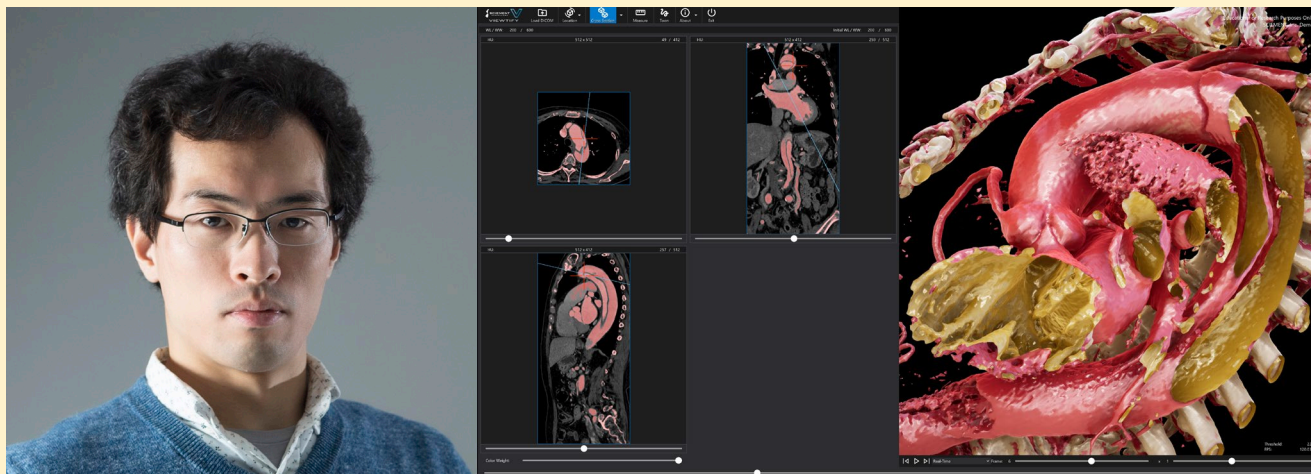


グラフィカルな表現法による複雑現象の理解

連続セミナー 第19回

科学技術に関するコミュニケーションにおいて、グラフィックスは非常に強力なツールの一つです。グラフィックスは、文字や数字だけでは表現が難しい知識や概念の理解を容易にするものであり、さまざまな分野において複雑な現象を理解するために欠くことのできないものとなっています。グラフィックスリテラシー教育研究センターでは、勉強会「グラフィカルな表現法による複雑現象の理解」を立ち上げ、定期的にセミナーを開催し、社会の中に散在する複雑現象の理解に対するグラフィックスの有効性について議論をしています。第19回セミナーでは、株式会社サイアメントの瀬尾拓史先生にご登壇いただき、医療用コンピュータグラフィックスの可能性についてお話していただきます。



1. 日 時 : 2024年12月18日(水) 18:30 ~ 20:00
2. 講 演 : 医用画像からの3DCG再構成を「超速く」「超綺麗に」ただだけで何かが変わるのか？
3. 講演者 : 瀬尾 拓史先生 (株式会社サイアメント 代表取締役社長・医師・博士(医学))
4. 参加費 : 無料
5. 実施形態 : 対面(神戸大学楠キャンパス)+遠隔のハイブリッド
(参加方法は登録頂いた方にお知らせいたします)

登録方法：右の参加登録ページへのリンクもしくは
QRコードから申し込み下さい。

問い合わせ先：eng-glec@research.kobe-u.ac.jp

[参加登録ページ
へのリンク](#)



主催：神戸大学大学院工学研究科 グラフィックスリテラシー教育研究センター
共催：日本図学会 関西支部
神戸大学 医学研究科医療創成工学専攻
神戸大学 V.School